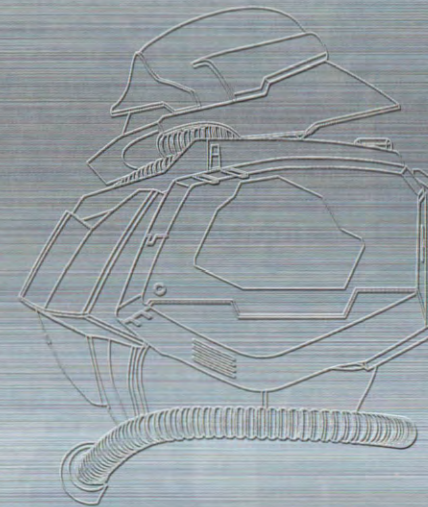




MOBILE SUIT
AMS-119

GEARA DOGA

NEO ZEON MASS-PRODUCED
MOBILE SUIT



ネオ・ジオン軍量産型モビルスーツ
AMS-119「ギラ・ドーガ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

AMS-119 GEARA DOGA

NEO ZEON MASS-PRODUCED MOBILE SUIT



BANDAI 2013 MADE IN JAPAN

ネオ・ジオン軍
量産型モビルスーツ
AMS-119「ギラ・ドーガ」
1/100スケール
マスターグレードモデル

※画像の完成品は、塗装してあります。

GUNDAM.INFO Search

www.gundam.info

バンダイホビーサイト www.bandai-hobby.net/
Free access by your communication and connection to the Internet are under customer's responsibility.
ホームページにアクセスする際の通信費用はお客様の責任となります。



0183648

AMS-119 GEARA DOGA

AMS-119 ギラドーガは、シャアが総帥として再興した新生ネオ・ジオンの主力MS(モビルスーツ)である。その設計思想は、ジオン系MSの基礎であるMS-06 ザクIIと同様の、“人間の機能を拡大した機動歩兵”というものであり、いわば、MS開発当初のコンセプトに立ち帰る事を目的としていた。すなわち、グリプス戦役から第一次ネオ・ジオン戦争(ハマーン戦争)に至る時期のトレンドであったMSの万能化、多機能化に伴う恐竜的進化に対する見直しが図られた機体だったのである。無論、この間の技術進展に伴う各種部材やパーツのスペック向上は目覚ましく、汎用MSとしては一年戦争当時とは比較にならない高性能機となっている。設計自体に余裕が持たされているため、各種のオプションを別途換装、装備する事であらゆる用途への投入も可能であったとされている。この機体は、新生ネオ・ジオンMS部隊の中核をなす機体として100機あまりが生産され、82機が実戦配備されている。そのうちの10機が指揮官機仕様でロールアウトしている。ギラドーガの原型となる機体は、U.C.0080年代後半のグリプス戦役後期に開発されていた



らしく、ハマーン戦争の終結時にアクシズ残党が持ち出した機体をベースに、AE(アナハイム・エレクトロニクス)社のグラナダ工場において、生産を前提とした設計変更を経て現在の仕様となった。性能的には同時期の連邦系量産機であるRGM-89 ジェガンと同程度のスペックを持ち、アームレイカーやエア・バルーンなど、制御系やコクピット周りも当時の標準的な装備に更新されている。ただし、基礎設計が古い事もあって、U.C.0093年の第二次ネオ・ジオン戦争(シャアの反乱)の時点ですでに旧式化しており、当時の標準的なMS部隊編成のスペックから考えれば機種転換寸前の機体であった。とはいえ、当時の新生ネオ・ジオンの台所事情からして、新設計の量産機を一から開発する余裕がなかったため、最も調達効率が良い機体として提供されたい。実際、本機の一部は、U.C.0120年代まで稼働が確認されている。ちなみに、AE社は独自に本機の後継機開発を継続していたとする説もあり、フレームや制御系に類似点が散見できるAMS-129 ギラズールなどがそれに当たる実質的な後継機だとされているが、詳細は不明である。

MOBILE SUIT HISTORY

ギラドーガの構造は、“人間の機能を拡大した機動歩兵”というMSの基本概念に立ち帰る事で、新世代の“ザク”を志向していた。かつてMS-06 ザクIIは、多様な環境への適応拡散を果たすと共に、更なる高性能化を目指し、ガンダムに匹敵する傑作機MS-14 ゲルググを産み出した。本機も同様に、MSN-03 ヤクトドーガやMSN-04 サザビーなどの開発ベースとして使用され、フレームの一部や制御系のユニットなどが“袖付き”のAMS-129 ギラズールなどに採用されることで、進化を続けているとも言えるだろう。

MS-06 量産型ザクII
MSの代名詞としてその名を残す一年戦争時に活躍したジオン軍量産型MS。



AMS-119 ギラドーガ
“人間の機能を拡大した機動歩兵”というMSの基本概念に立ち帰り、開発された新生ネオ・ジオンの主力量産機。

※この機体には、TMG ギラドーガIが1体のみ入っています。

AMS-129 ギラズール
「袖付き」と呼ばれるネオ・ジオン残党の主力量産型MS。ギラドーガの発展強化更新型。比較的容易に機体の改造や強化が可能で、機長機や長距離機を備えた重武装仕様など様々な仕様が存在する。

MECHANISM



WEAPONS ビーム・マシンガンは、ふたつの銃口からベレット状のビームを連射するほか、通常のビームも射出可能。グレネードランチャーも装備できる。ビーム・ソード・アックスはビーム・エミッターを二基内蔵しており、状況によってソード、ピック、アックス状のビームを形成する。シュツルム・ファウストは使い捨ての簡易型ロケットランチャーで、シールド裏面に4発装備できる他、シールド裏面のグレネードランチャーは、榴弾やスモーク弾など各種の弾頭も使用できる。



BACKPACK 本機の基本仕様は“空間戦闘用”であり、長距離巡航用のバックパックを標準装備している。これは“ザク”開発当初の試作冷却ユニットを原型としており、いわゆる“高機動型”を上回るプロペラント容量を持つ。これは補助艦艇の少ない新生ネオ・ジオンの台所事情も反映している。各種のオプションを換装する事であらゆる用途に投入することも可能で、機雷敷設用の“メインレイヤー”や“ランゲ・ブルーノ砲”と呼ばれる長距離砲の重武装型も提案されていた。



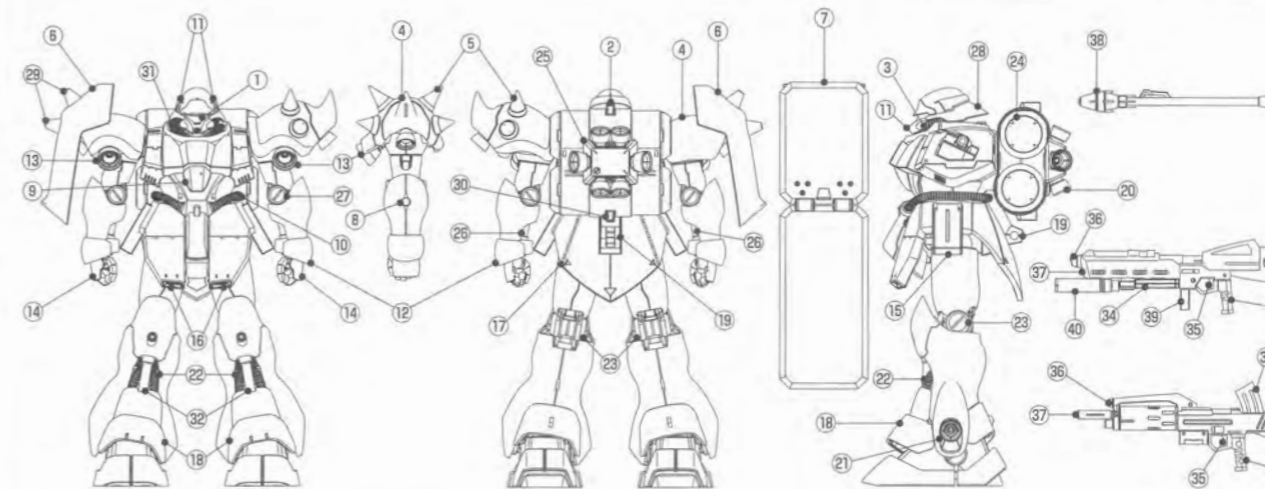
BODY FRAME 本機の生産はAE社のグラナダ工場が請け負っていた。グラナダはもともとジオンシンパの多い土地柄で、技術的にもジオン系のノウハウが充実しており、連邦系の“フィールド・モーター”を基礎構造とする“ムーバブル・フレーム”と、ジオン系の“流体内バルス・システム”を併存させる設計などに一日の長がある。後のギラズールにも本機のパーツが多く流用されているが、その時期においても前線で通用するのは、部品単位での調整や改良を怠らない技術者らの功績とされる。

COMMANDER TYPE

約100機ほど生産されたギラドーガのうち、指揮官機は10機前後とされており、変更点は通信能力の強化に伴う頭部ブレードアンテナの増設程度だとされている。一部機能の強化や専用武器、パーソナルカラーなども整備可能な範囲内で認められており、“シャアの反乱”時にも数機のバリエーションが目撃されている。ちなみに、頭部形状そのものが異なる、俗に“ボックスヘッドタイプ”と呼ばれる複合電装デバイス搭載機も隊長機として提案されていたようだ。



Parts and spec AMS-119 GEARA DOGA



- | | | | | |
|----------------|----------------|-----------------|----------------|--------------|
| ① モノアイカメラ | ⑨ コクピットハッチ | ⑰ リアアーマー | ⑳ スラスタースポッド | ㉓ グリップ |
| ② リアトップセンサー | ⑩ メインパワーサプライヤー | ⑱ アンクルガーダー | ㉔ アームトルクシリンダー | ㉕ フォアグリップ |
| ③ ヘッドパワーサプライヤー | ⑪ マルチフルダクト | ⑲ マウントラッチ | ㉖ エルボジョイントアーマー | ㉗ トリガー |
| ④ ショルダーアーマー | ⑫ リストガーダー | ⑳ メインスラスタ | ㉘ ネットプレート | ㉙ マルチサイトセンサー |
| ⑤ シャープスパイク | ⑬ リバーススラスタ | ㉑ サブスラスタ | ㉚ プラントスパイク | ㉛ マズル |
| ⑥ ショルダーシールド | ⑭ マニピュレーター | ㉒ レガースパワーサプライヤー | ㉜ リアボトムセンサー | ㉝ ウォーヘッド |
| ⑦ オプションシールド | ⑮ サイドアーマー/ラック | ㉓ ニージョイントアーマー | ㉞ ネットパワーサプライヤー | ㉟ エネルギーバック |
| ⑧ オプションラッチ | ⑯ フロントアーマー | ㉔ コンフォーマルタンク | ㉟ シントルクシリンダー | ㊱ グレネードランチャー |

注) “ギラドーガ”は、“グリプス戦役”から“第一次ネオ・ジオン戦争”に至る時期に原型機が開発されたと言われている。詳細な開発経緯は定かではないが、現在ではハイザックやザクIII以上に“ザクの後継機”として認知されていることは論を待たないだろう。一説には、旧ジオニック出身の古参技術者が結集し、“奇を衒わないMS”としての理想型を追究した小規模なプロジェクトが発端と言う珍説もまことしやかに囁かれている。

△ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が悪く飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

＜組み立てる時の注意＞

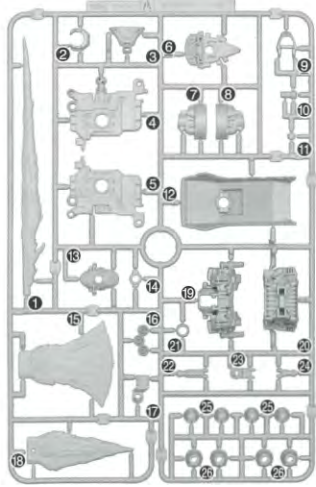
- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 切り取った後のクズは捨ててください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

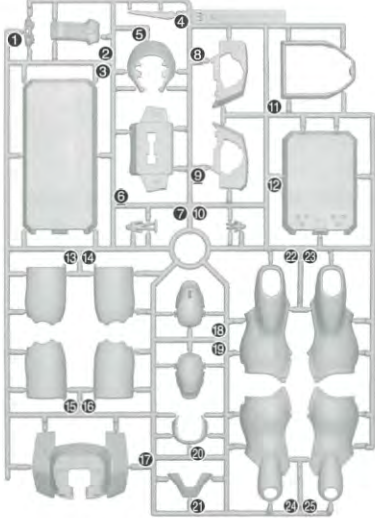
A/パーツ(イロプラ)

(スチロール樹脂: PS)

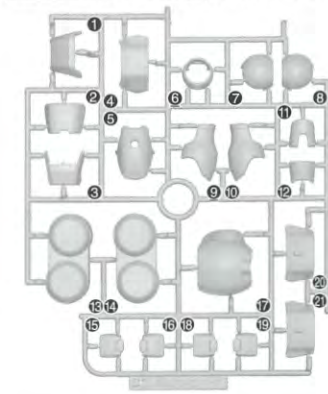


B/パーツ(グリーン)

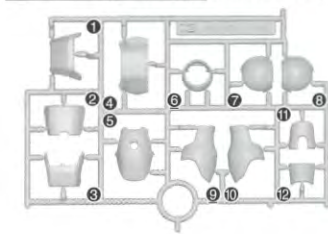
(スチロール樹脂: PS)



C1/パーツ(グリーン) (スチロール樹脂: PS)



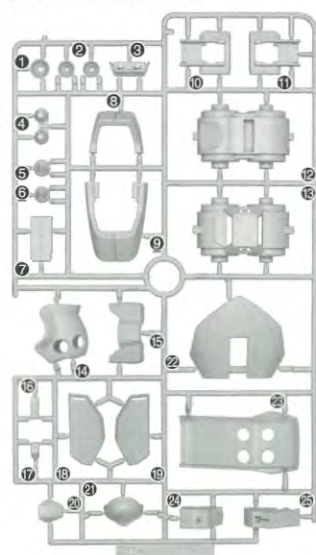
C2/パーツ(グリーン) (スチロール樹脂: PS)



D1/パーツ(ダークグリーン)

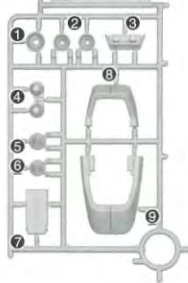
アンダーゲート有り

(スチロール樹脂: PS)



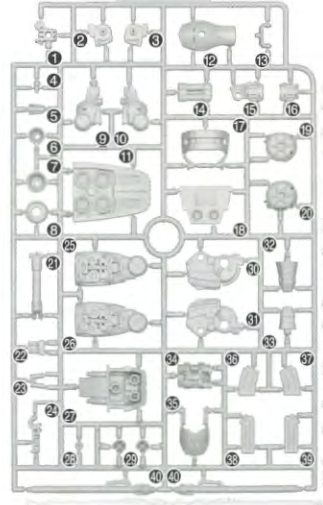
D2/パーツ(ダークグリーン)

(スチロール樹脂: PS)



E/パーツ(グレー) (×2)

(スチロール樹脂: PS)



F1/パーツ(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



※クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

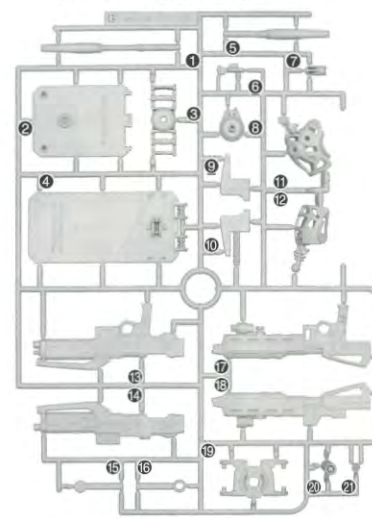
F2/パーツ(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



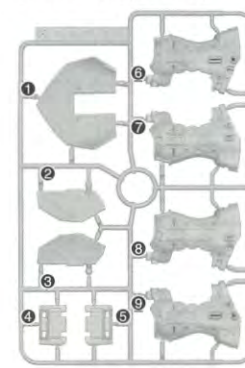
G/パーツ(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



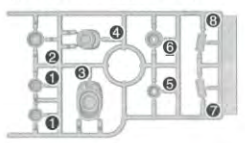
H/パーツ(グレー)

(スチロール樹脂: PS)



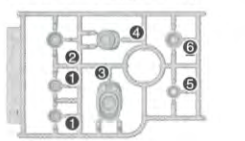
I1/パーツ(オレンジ)

(スチロール樹脂: PS)



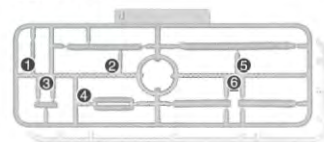
I2/パーツ(オレンジ)

(スチロール樹脂: PS)



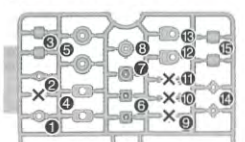
J/パーツ(ダークイエロー) (×2)

(合成ゴム)

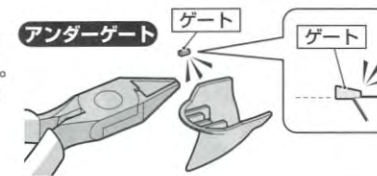


PC-200(グレー)

(ポリエチレン: PE)



※説明書でアンダーゲートと表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

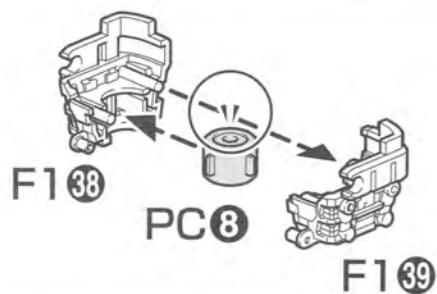


カラーシール……………1枚
マーキングシール……………1枚
ガンダムデカール……………1枚

組み立て前の基本説明

部品の向きに注意してください

※組み立て中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。

保護シート



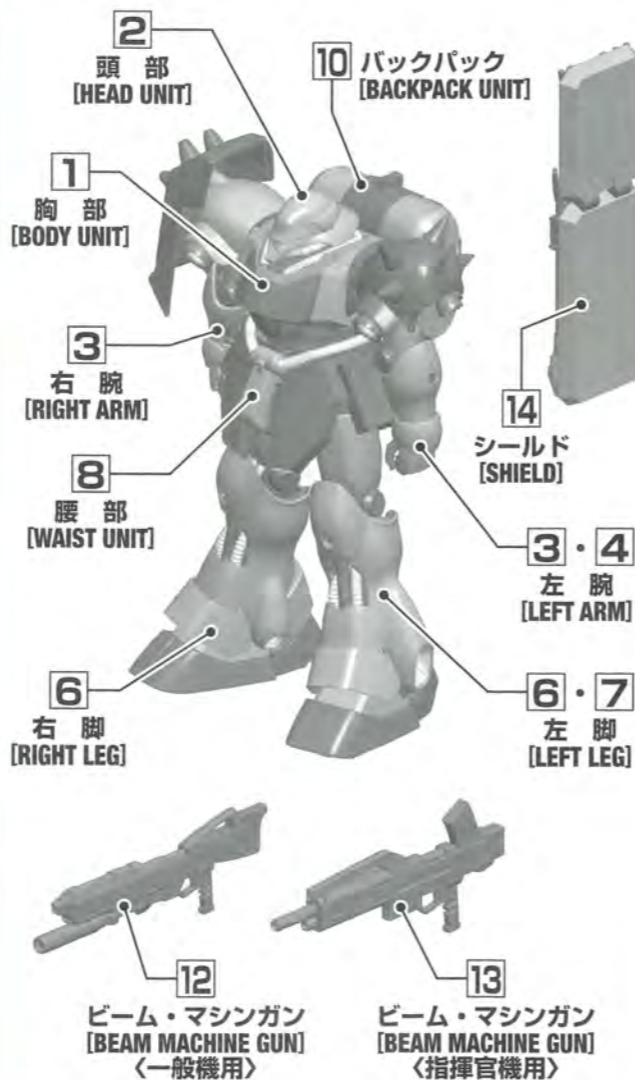
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、すれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。

③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。



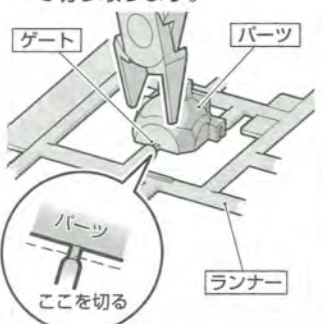
※デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

説明書をよく読んで完成させましょう

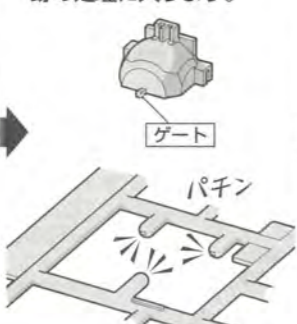


パーツの切り取りかた

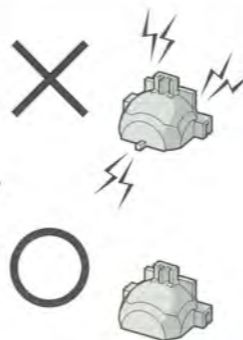
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくしたところでゲートの処理に入ります。



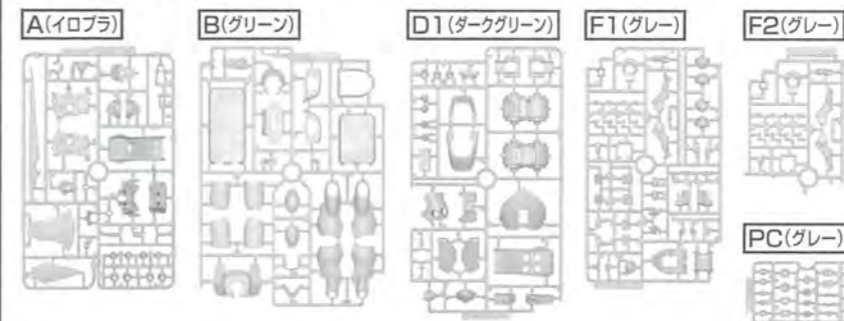
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



1 BODY UNIT

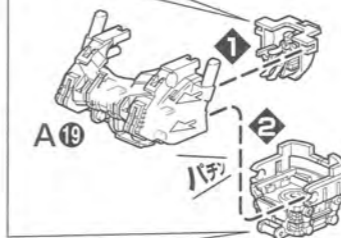
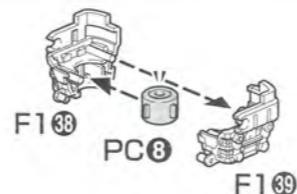
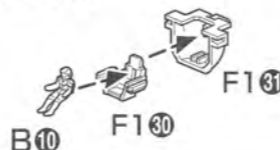


・組立①で使用するパーツ



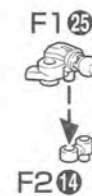
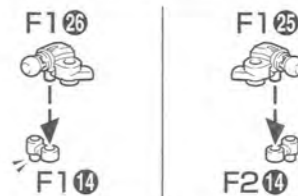
1 (胸部の組立)

<1> BODY UNIT

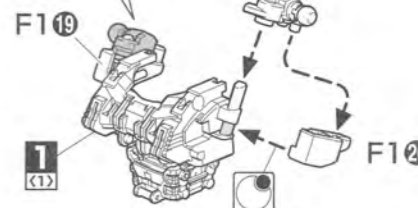


1

<2>

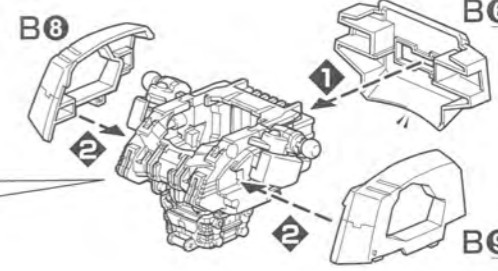
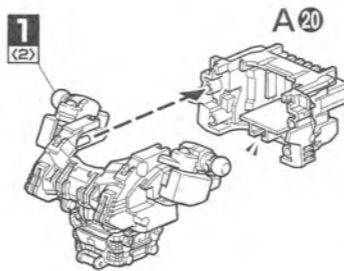


向きをかえます。



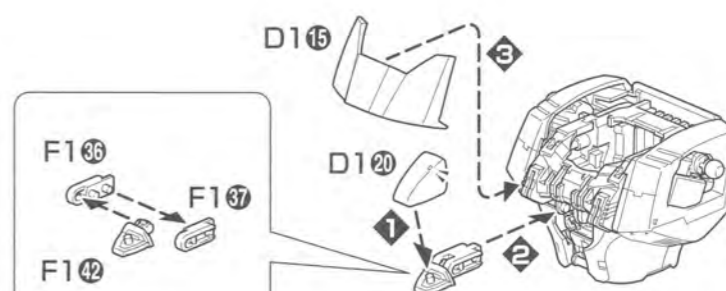
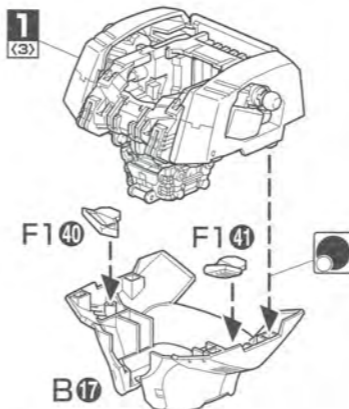
1

<3>



1

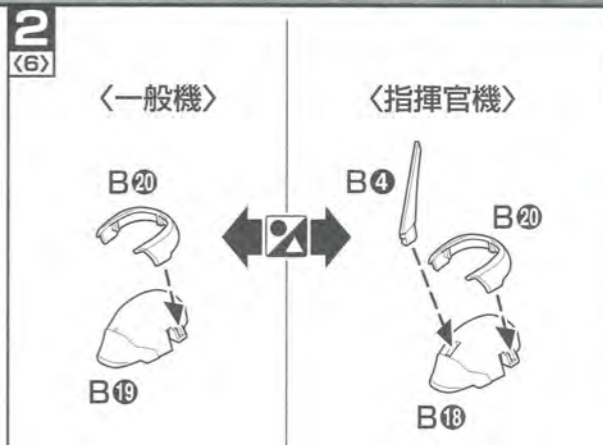
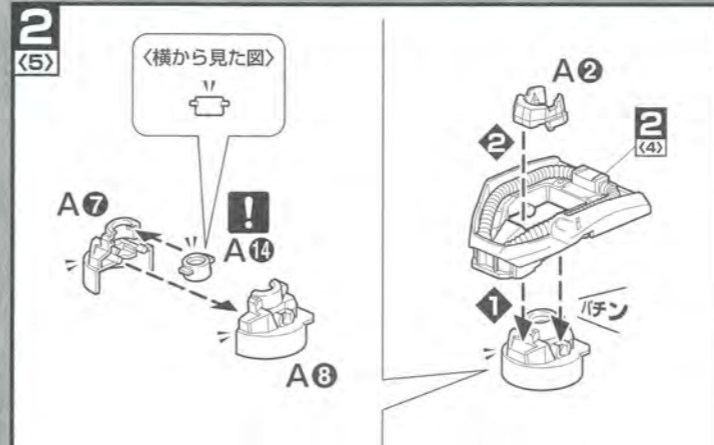
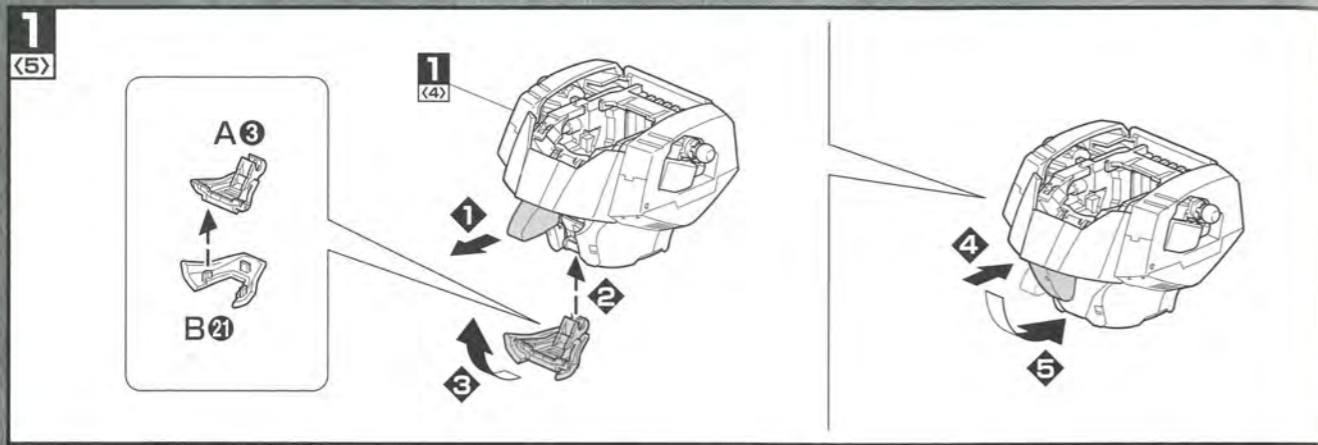
<4>



※組立図中の記号説明

先に組み立てる

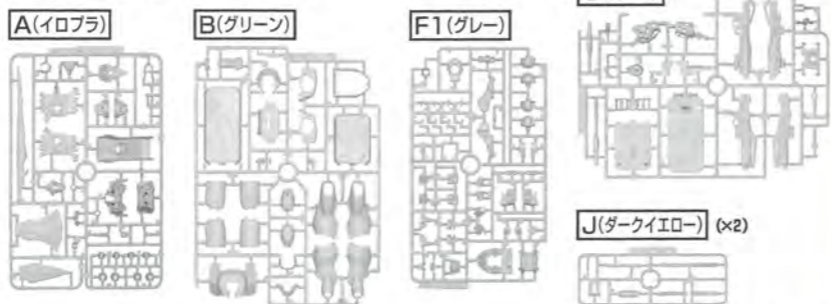
後から組み立てる



2 HEAD UNIT

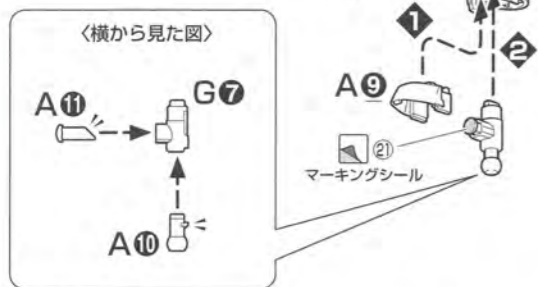


・組立2で使用するパーツ

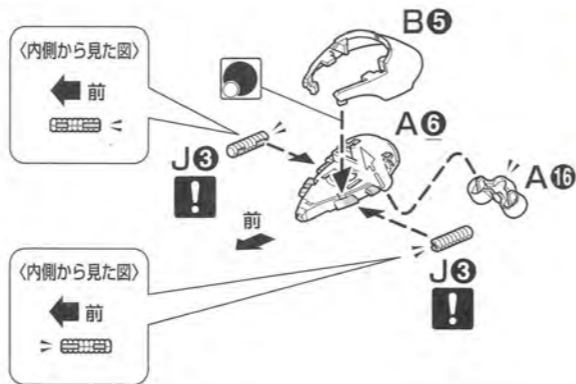


2 (頭部の組立)

(1) HEAD UNIT



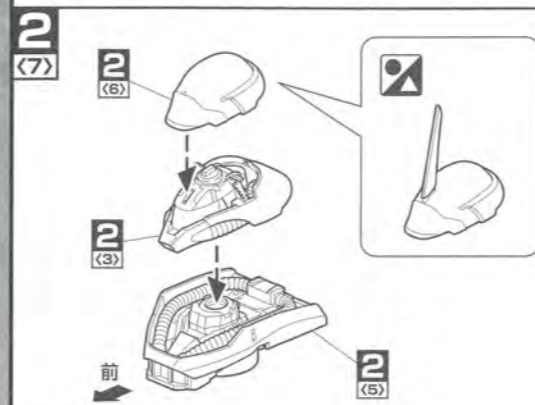
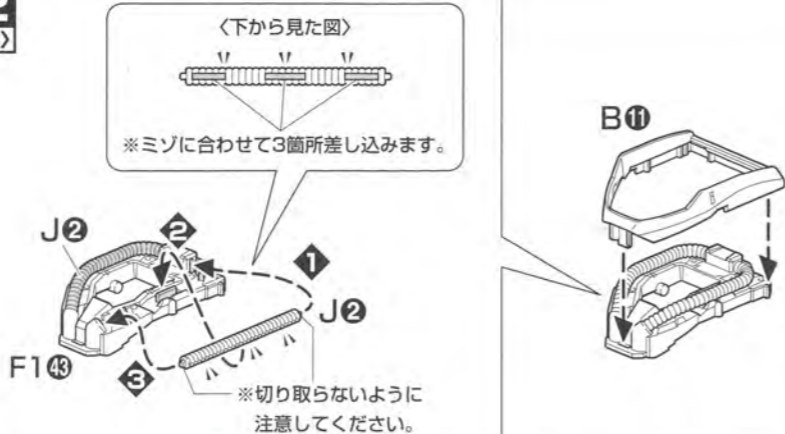
2 (2)



2 (3)



2 (4)



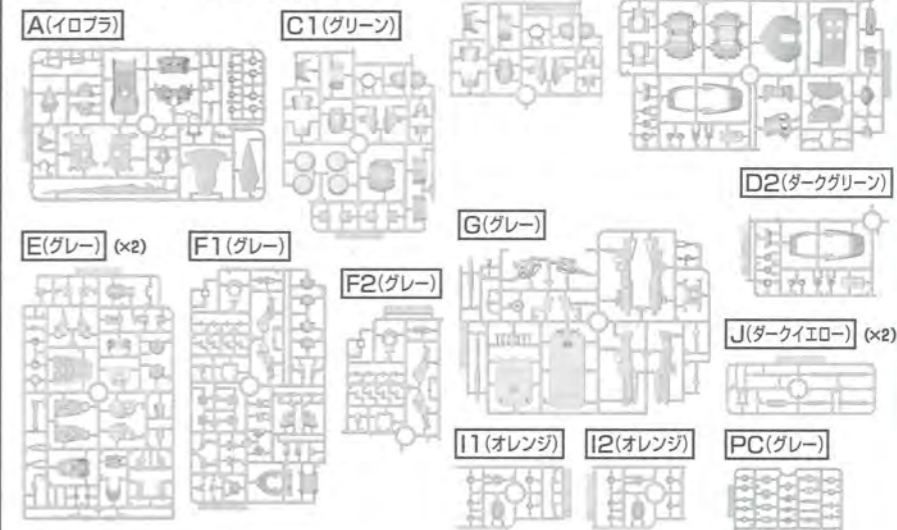
<LEDユニットを組み込む場合>



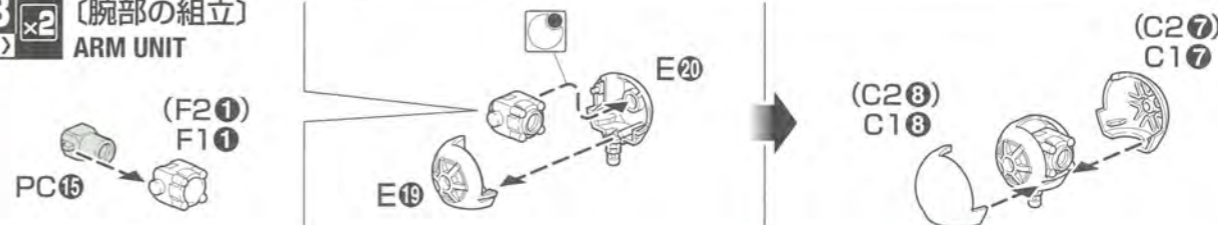
3 4 ARM UNIT



・組立3・4で使用するパーツ



3 (腕部の組立)
(1) ARM UNIT



3 **(2)** **x2**

※切り取らないように注意してください。

3 **(3)** **x2**

〈横から見た図〉

3 **(4)** **x2**

〈横から見た図〉

3 **(5)** **x2**

3 **(6)** **RIGHT ARM**

3 **(7)**

※きれいに切り取ります。

3 **(8)**

※きれいに切り取ります。

〈下から見た図〉

3 **(9)**

〈前から見た図〉

3 **(10)**

〈前から見た図〉

※きれいに切り取ります。

3 **(11)**

〈前から見た図〉

4 **(10)**

4 **(11)** **LEFT ARM**

4 **(2)**

※きれいに切り取ります。

〈下から見た図〉

アンダーゲート

〈下から見た図〉

※きれいに切り取ります。

Diversionsary tactic

U.C.0093年3月。5th(フィフス)ルナの作戦を終え、スイート・ウォーターへの帰路についたネオ・ジオン艦隊は、追撃するロンド・ベル隊に隔動をかける。連邦政府と秘密裏に交渉するため、サイド1のロンデニオンに向かうシャアの偽装貨物船の発進を隠蔽するため、「なんて作戦だ! MSは白兵戦がメインなのに!」「発進だぞ! 戦場に行けば好きやってるくせに!」「わかったよ!」管制官に軽口を叩きつつ、「エース」のレズン・シュナイダーは青いギラドーガを発進させ、それを追うようにギラドーガが大量してロンド・ベル艦隊に押し寄せる。「こういう時に数を減らす!!」ジェガン隊が迎撃に出るもの、対空防御の砲火をかいくぐって手練のレズン機が突破口を開き、ギラドーガ隊が押し寄せる。「取り付いた!!」旗艦のラー・カイラムを射程に収めたレズンは快撃を叫ぶ。と、迎撃に出たロンド・ベルのジェガンが僚機を撃墜する。「やるじゃないかチョコマカと!」その機体を次の獲物と定めたレズンは瞬間にケーラのジェガンを追いつめる。その刹那、2機の間を強力なビームが遮った。「何!? 援護の艦隊か?」身構えたレズンは態勢を立て直し、その機体「ガンダム」がデータに無い新型であることを確認する。「後退信号だ!」潮時と見たレズンは部下に命じ、ギラドーガ部隊は一斉に退却を始めた。「鮮やかだな……」その引き際は駆けつけたアムロをも驚嘆させるものであった。



AXIS Shock

「何だ!?!」「熱源、アクシズの温度が上がっているだけです!!」アクシズを巡る激戦は終局に至ろうとしていた。ロンド・ベルの決死の作戦でアクシズは割れたものの、その反動でアクシズの後部が減速し、地球への到着が避けられない状況に陥ってしまったのだ。シャアのサザビーを撃破したアムロは、勝ち誇るシャアの脱出ポッドをアクシズに叩き付け、この「石ころ」を宇宙へと押し戻すべく、ガンダムのバーニアを全開する。その時、それまで静観していた連邦軍の艦隊が駆けつけ、MSの部隊がネオ・ジオンの艦隊やMSたちを無視してアムロと同様にアクシズを押し戻し始めたのだ。すると、それをたまた見ていたギラドーガたちもまた、武器を捨ててアクシズに取り付いた。「ギラドーガまで……、無理だよ、みんな退かれ!!」「地球が駄目になるかならないかなんだ。やってみる価値はありますぜ!」ギラドーガのパイロットまでもが、アムロの意志に共鳴し、この無謀な賭けに乗ったというのだ。果たしてアムロの危惧通り、敵味方を問わず大気の摩擦熱とオーバーロードで一機、また一機と爆散していった。「離れる!! ガンダムの力は……!!」その瞬間、ガンダムのコックピット周辺から不可思議な光が広がり、取り付いていたMSを引きはがして行った。その光はシャアの脱出ポッドをも包摂し、やがてふたつのアクシズを繋いで軌道上に引き戻し、さらには地球の周囲をも覆い尽くして行くのだった……。

※画像はイメージです。

PAINTING

※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。 ※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。 ※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。

ギラドーガ

<p>本体等 ライトグリーン部の塗装色。 よもぎ色(90%) + ダークグリーン(10%) + イエローグリーン(少量)</p>	<p>フレーム等 グレー部の塗装色。 ニュートラルグレー(80%) + ブラック(10%) + ブルーグレー(10%) + ホワイト(少量)</p>	<p>シュツルム・ファウスト レッド部の塗装色。 モンザレッド(100%)</p>	<p>センサー等 ピンク部の 塗装色。 ピンク(100%)</p>
<p>本体等 ダークグリーン部の 塗装色。 カーキグリーン(80%) + インディブルー(20%)</p>	<p>バーニア等 イエロー部の 塗装色。 オレンジイエロー(60%) + ホワイト(40%)</p>	<p>頭部モノアイの塗装色。 クリア(60%) + クリアレッド(40%) + ホワイト(少量)</p>	

ネオ・ジオンパイロット

<p>スーツ グリーン部の塗装色。 よもぎ色(90%) + ダークグリーン(10%) + イエローグリーン(少量)</p>	<p>スーツ イエロー部の塗装色。 イエロー(70%) + ホワイト(30%) + オレンジイエロー(少量)</p>	
<p>スーツ ホワイト部の塗装色。 ホワイト(85%) + ブルーグレー(15%) + ディナークリーン(極少量)</p>	<p>スーツ レッド部の塗装色。 モンザレッド(100%)</p>	
<p>ヘルメット バイザー部の塗装色。 ホワイト(80%) + パープル(10%) + スカイブルー(10%)</p>		

ワンポイントステップ スミ入れしてみよう!!

ガンダムマーカ- / スミ入れ用(別売り)などを使用して、ミノの所に線を引きこめて、模型が引き締まります。



▲ 頭部内モノアイは左右に可動。

▲ 各部の動力パイプには、軟質素材を使用しリアルな質感を追求。

▲ シュツルム・ファウストなど豊富な各種武装をセット。ビーム・ソード・アックスは各モードのビームエフェクトが付属。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用しています。

機動戦士ガンダム



“シャアの反乱”で登場したMSをMGで確認せよ!!

MGでは「逆襲のシャア」に登場したMSが多数ラインナップ!! さらに「Ver.Ka」では、ガンダムがより精密なディテールとオリジナルギミックを盛り込んでリニューアルされており、シリーズラインナップがさらに拡大!!



MG サザビー MG リ・ガスィ MG ゴンダム MG ゴンダム(Ver.Ka)
※画像の完成品は、塗装してあります。 ※画像と商品とは、多少異なりますのでご了承ください。 ※上記のプラモデルは全て別売りです。



▲ 「ガンブラ用LEDライトユニット(ピンク)」(別売り)を組み込む事で、モノアイの発光が可能。

▲ 重厚なフォルムの外装の中には、堅牢な機体フレームを再現。広い可動域の各関節により、劇中さながらのドラマティックなアクションポーズが可能。

4 (3) **D2** (6) **D1** (6)

長い方
短い方

4 (2)

F1 (27) **F1** (32)

向きをかえます。

前

〈前から見た図〉

F2 (10) **C1** (18)

5 〔上半身の完成〕
UPPER BODY

2 で作った頭部

1 で作ったボディ

4 で作った左腕

3 で作った右腕

6 (2) **x2**

6 (1)

(C2) (1) **C1** (1)

※よけるように取り付けてください。

(D2) (9) **D1** (9)

4

3

5

E11

6 (3) **x2**

C1 (4) **(C2)** (4)

E17

6 (4) **x2**

E1

(F2) (1) **F1** (1)

E1

6 (5) **x2**

突起のある方

J4

E30・**E31**

E35

6 (6) **x2**

J6

! **E2**

〈内側から見た図〉

E34

6 **7** **LEG UNIT**

・組立**6**・**7**で使用するパーツ

B(グリーン) **C1**(グリーン) **C2**(グリーン)

D1(ダークグリーン) **D2**(ダークグリーン)

E(グレー) (x2) **F1**(グレー) **F2**(グレー) **H**(グレー)

I1(オレンジ) **J**(ダークイエロ-) (x2)

I2(オレンジ) **PC**(グレー)

6 (7) **RIGHT LEG**

〔右脚の組立〕

〈横から見た図〉

前

6 (6)

H8

前

1

2

6 (6)

※平行になるように取り付けます。

〈横から見た図〉

前

※図の位置に取り付けます。

6 (1) **x2** **LEG UNIT**

〔脚部の組立〕

(F2) (2) **F1** (2)

PC (5)

E27

※きれいに切り取ります。

D1 (8) **(D2)** (8)

C1 (3) **(C2)** (3)

E18

※きれいに切り取ります。

(F2) (10) **F1** (10)

(F2) (8) **F1** (8)

6 (8)

〔脚部の組立〕

〈横から見た図〉

前

6 (7)

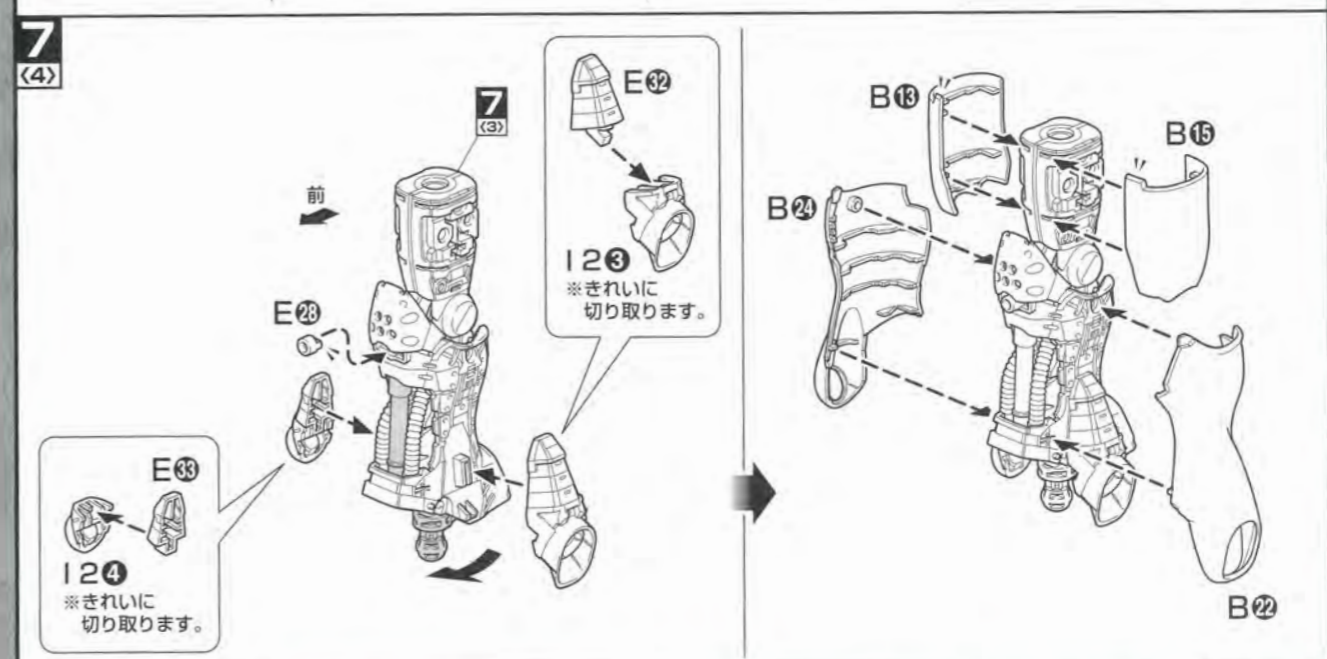
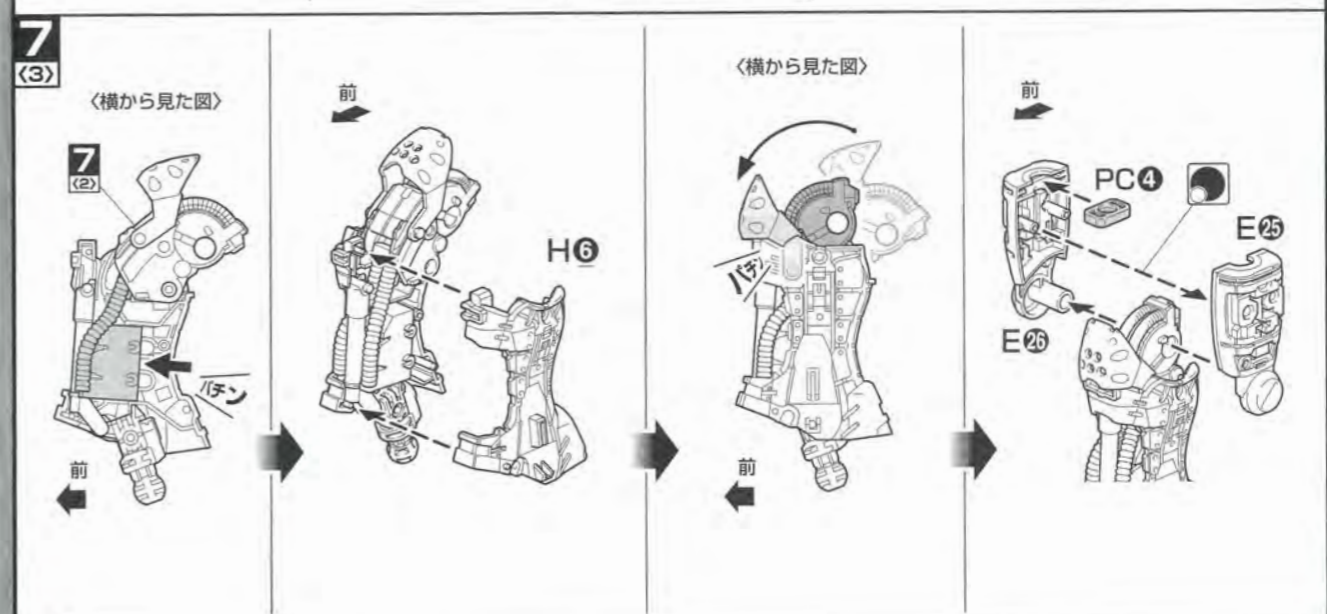
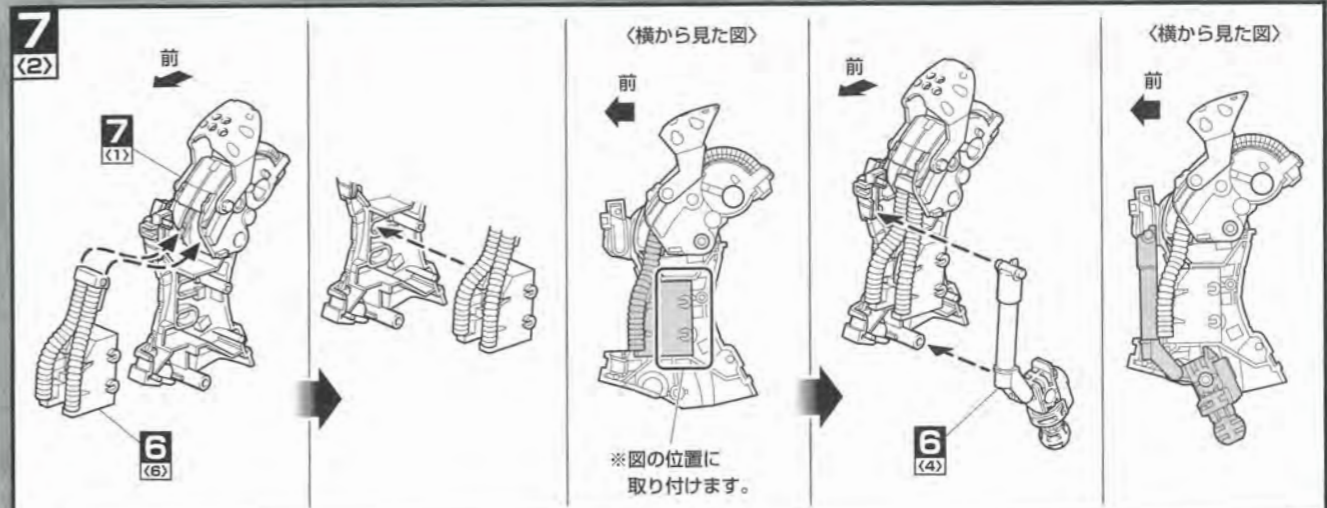
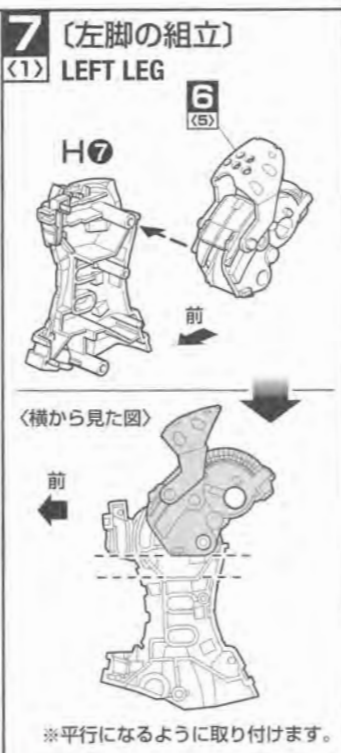
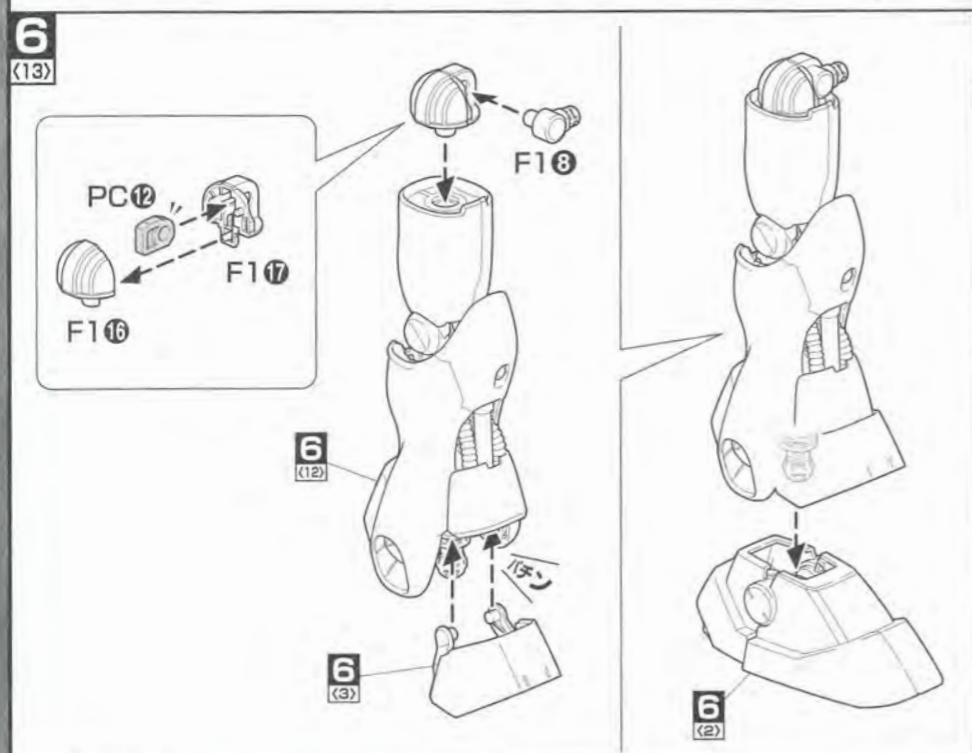
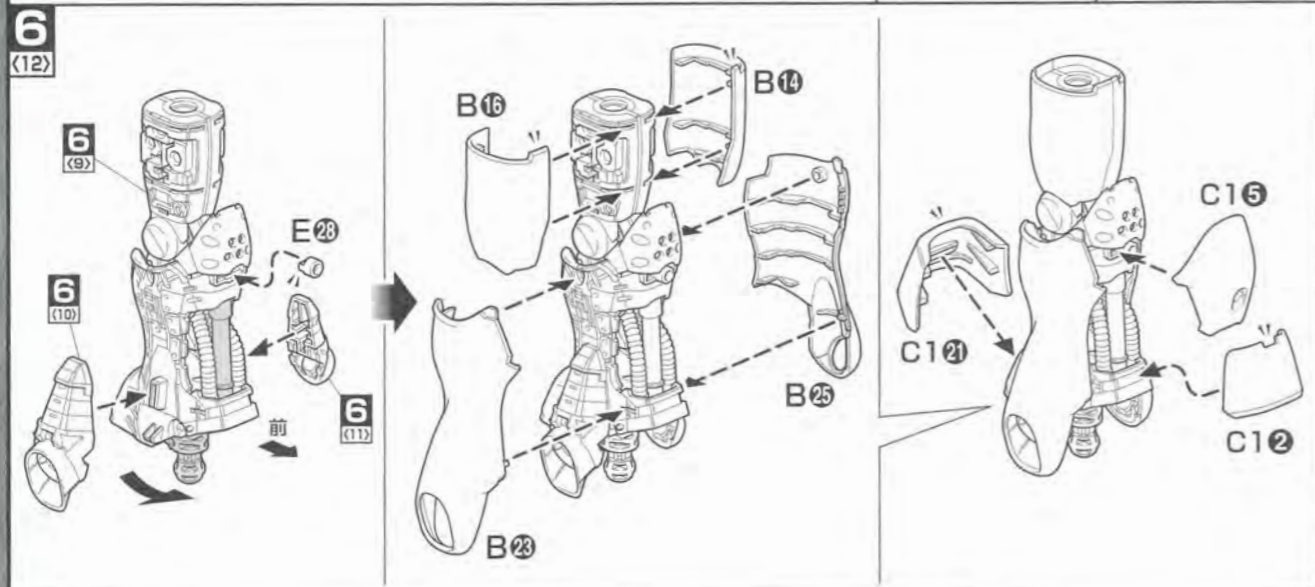
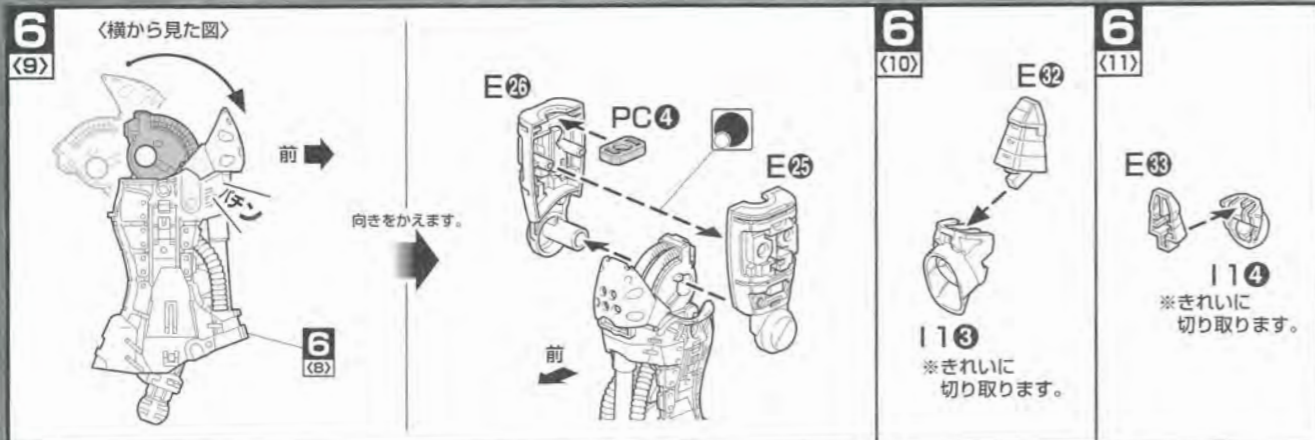
前

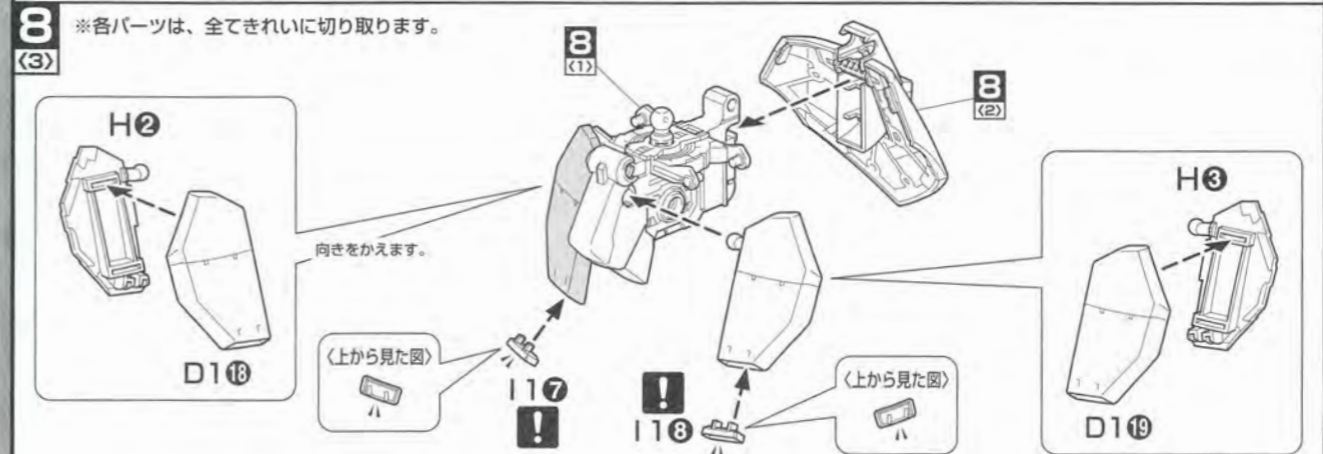
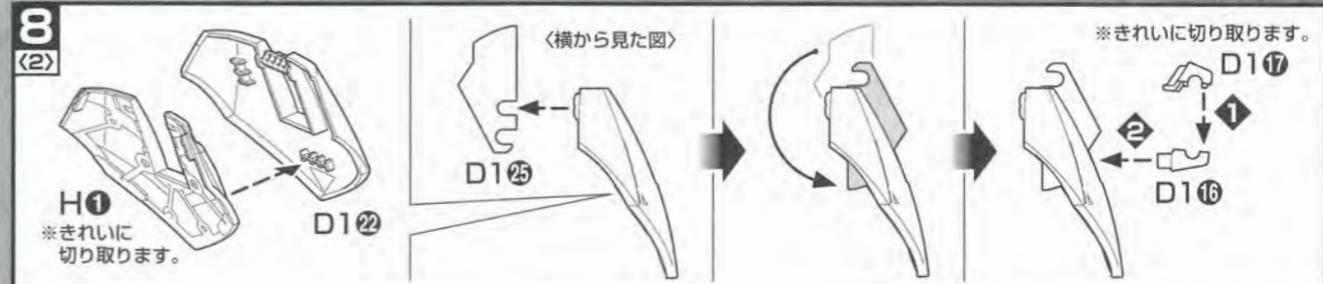
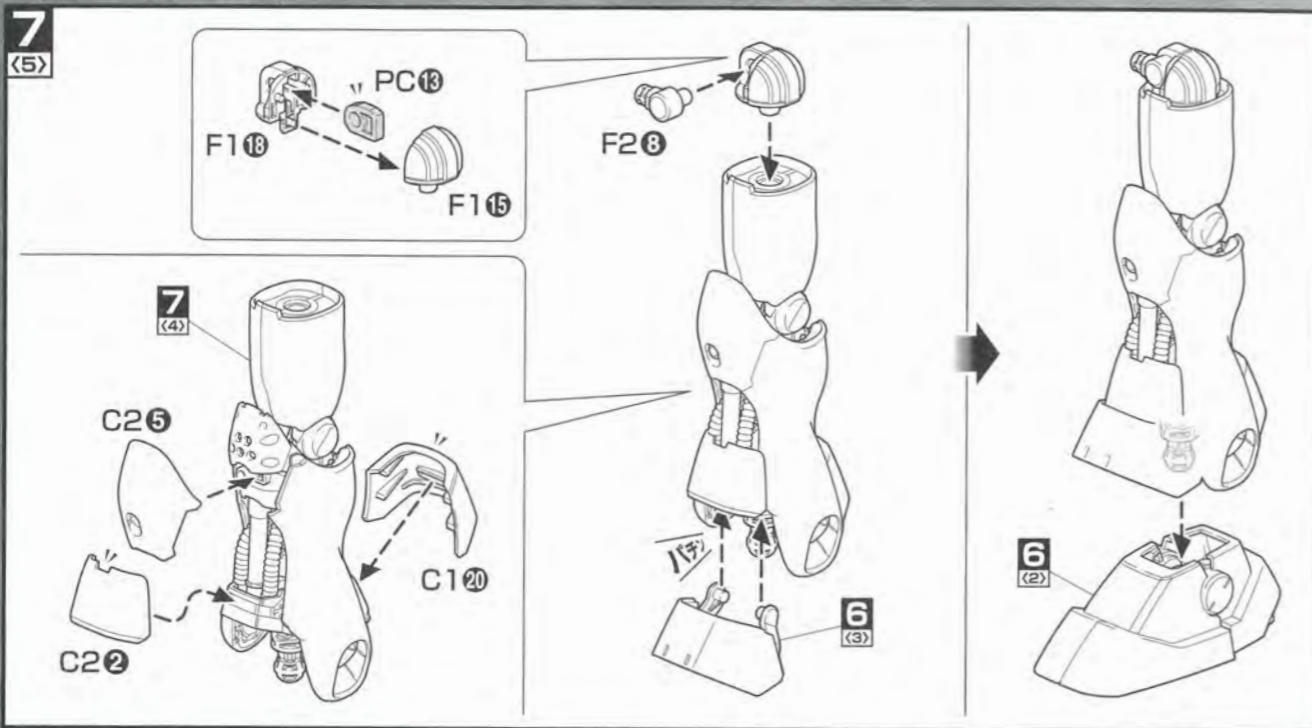
1

2

6 (4)

H9

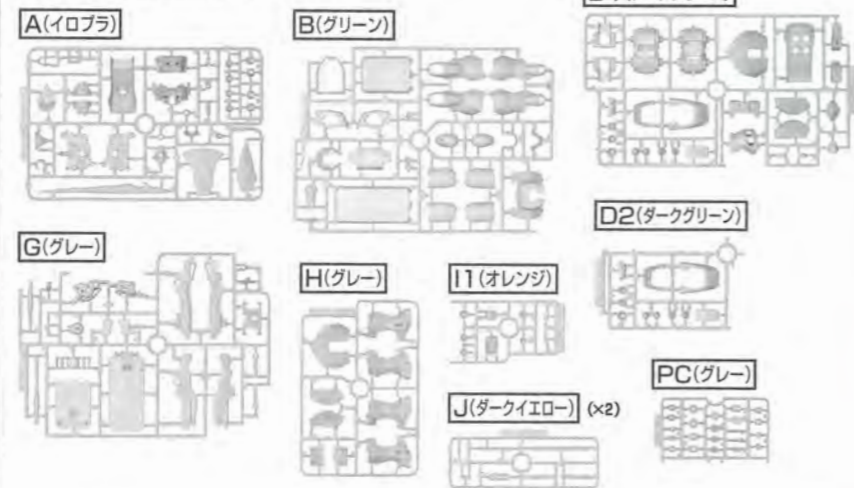




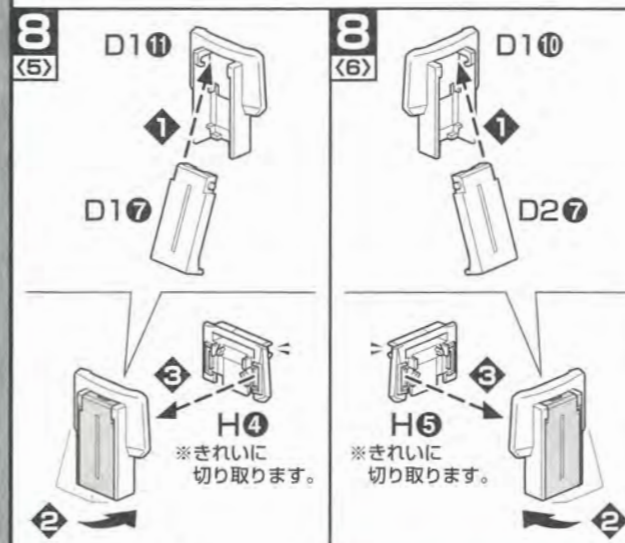
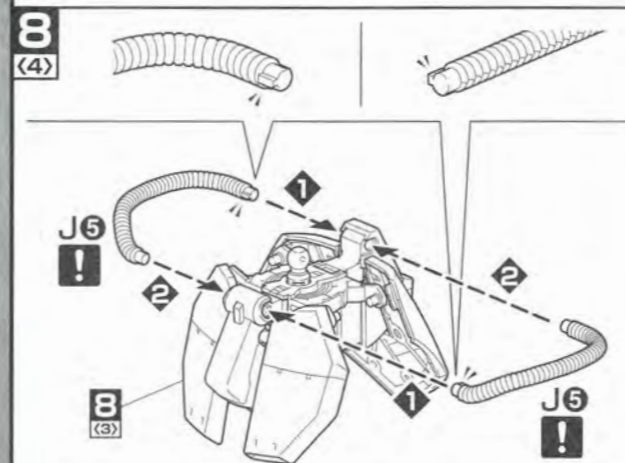
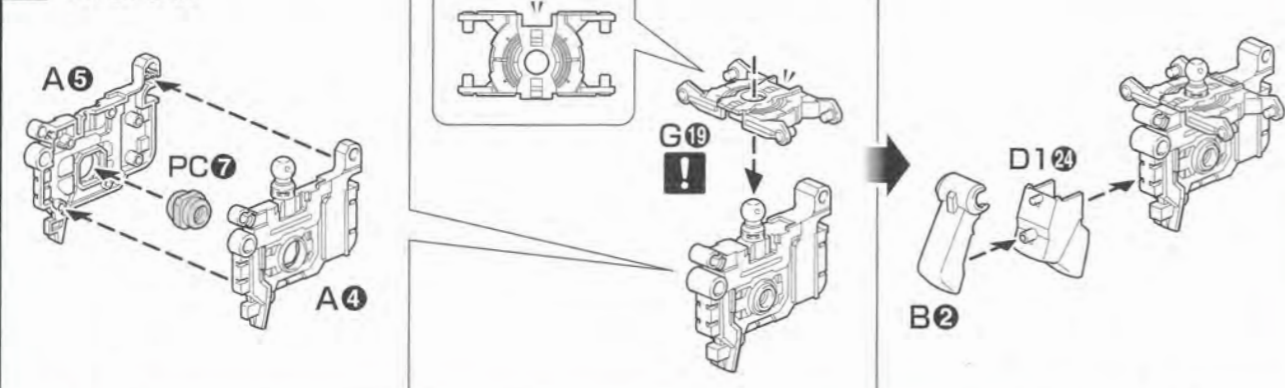
8 WAIST UNIT



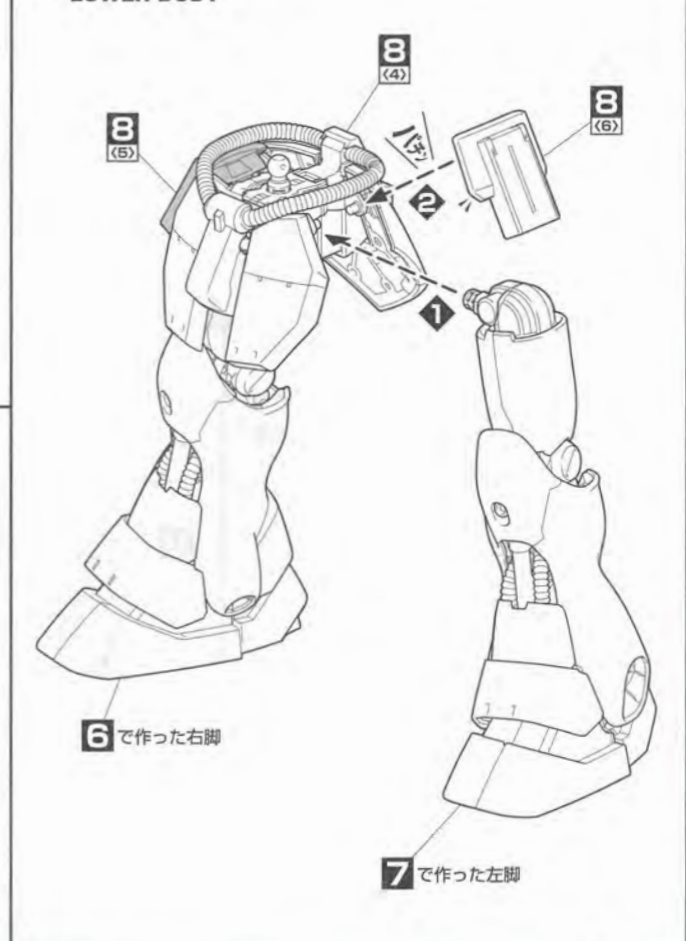
・組立**8**で使用するパーツ



8 (腰部の組立)
(1) WAIST UNIT



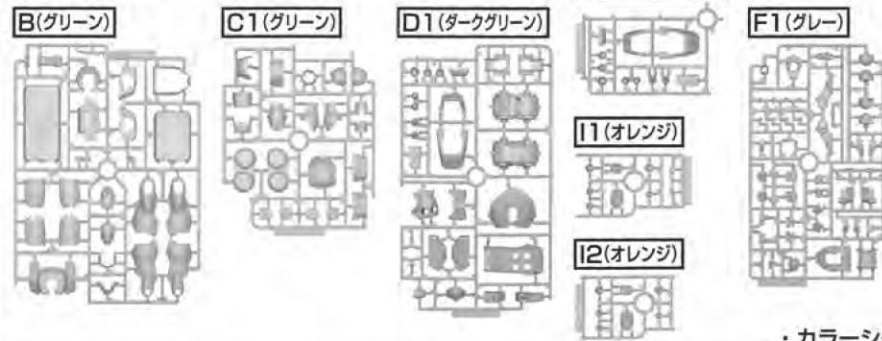
9 [下半身の完成]
LOWER BODY



10 BACKPACK UNIT

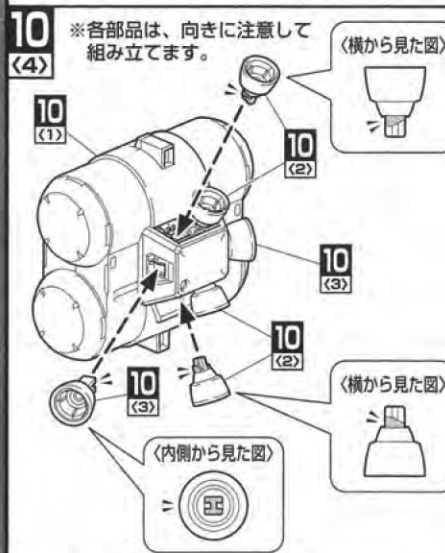
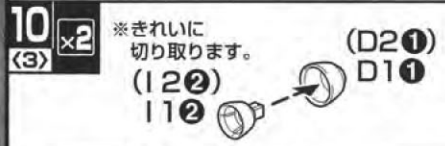
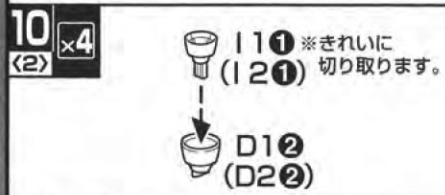
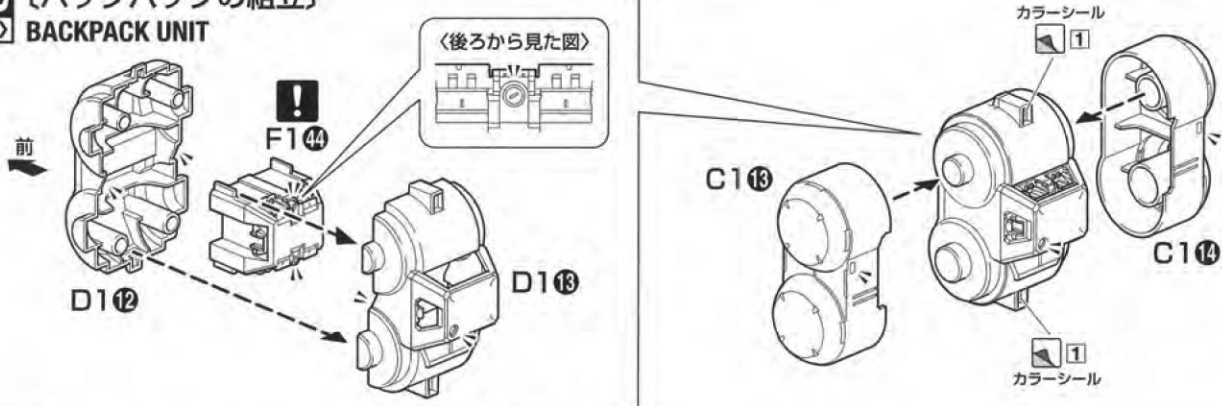


・組立10で使用するパーツ

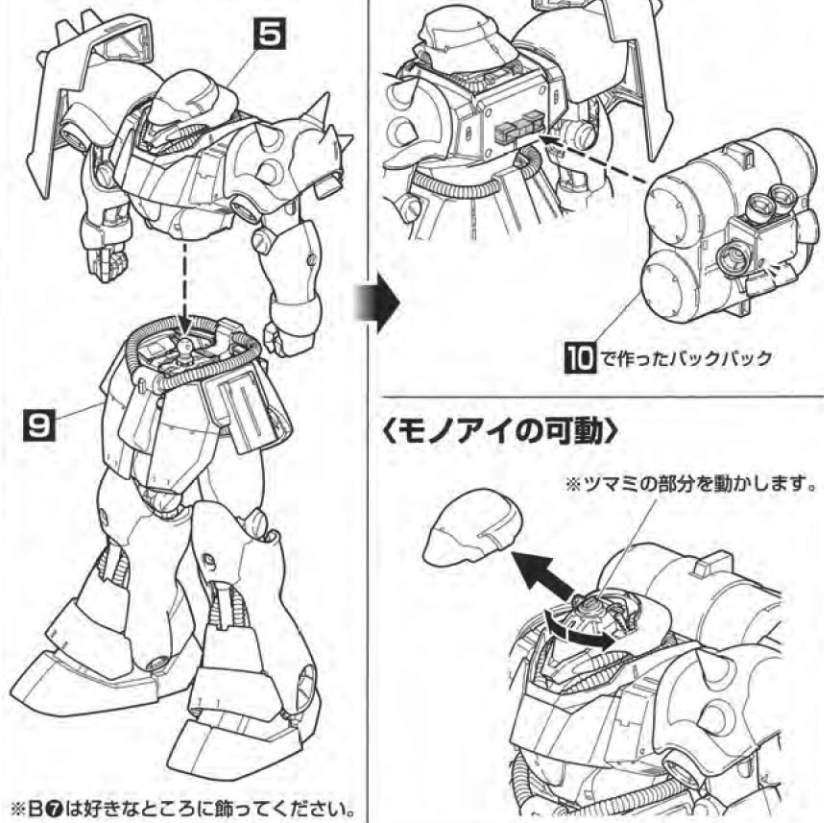


・カラーシール

10 (バックパックの組立) (1) BACKPACK UNIT



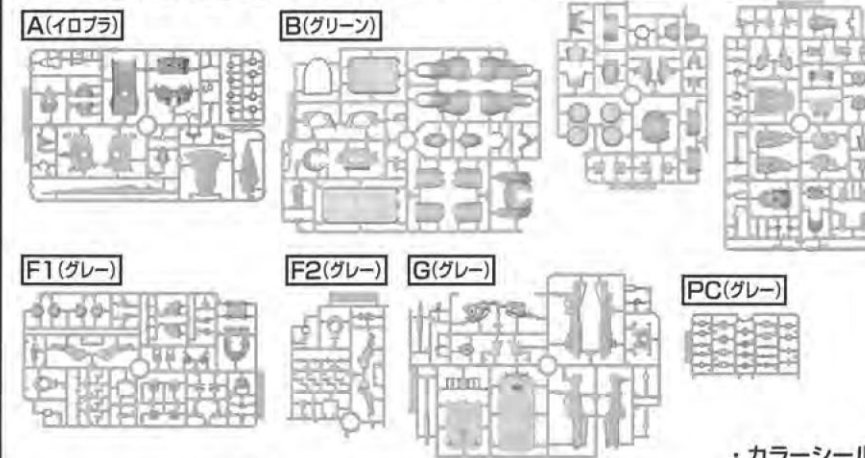
11 (完成) FINAL ASSEMBLY



12 13 14 15 WEAPONS

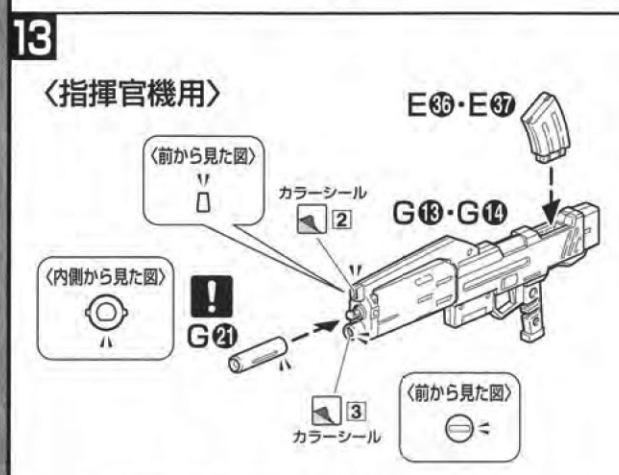
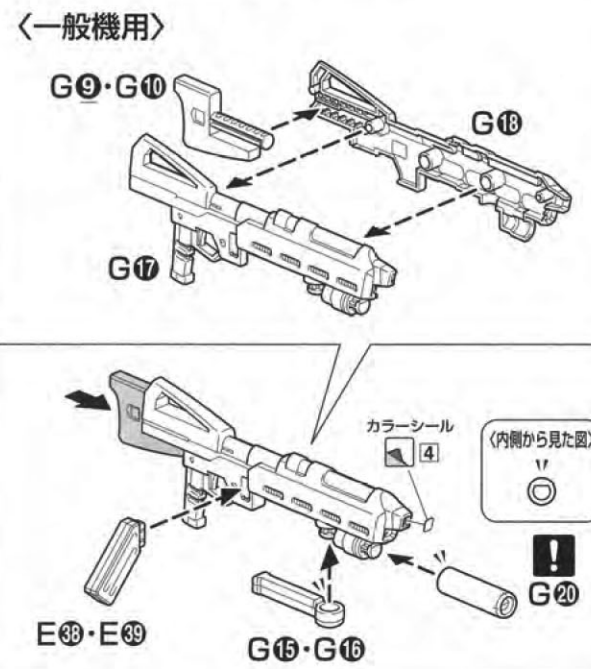


・組立12・13・14・15で使用するパーツ

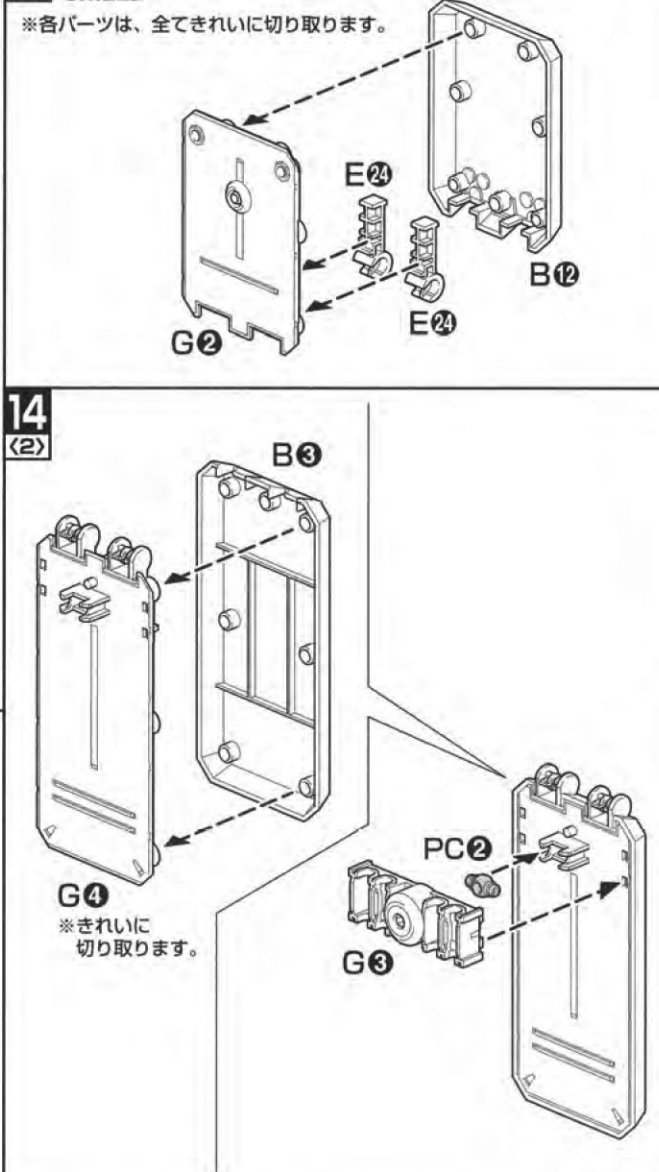


・カラーシール

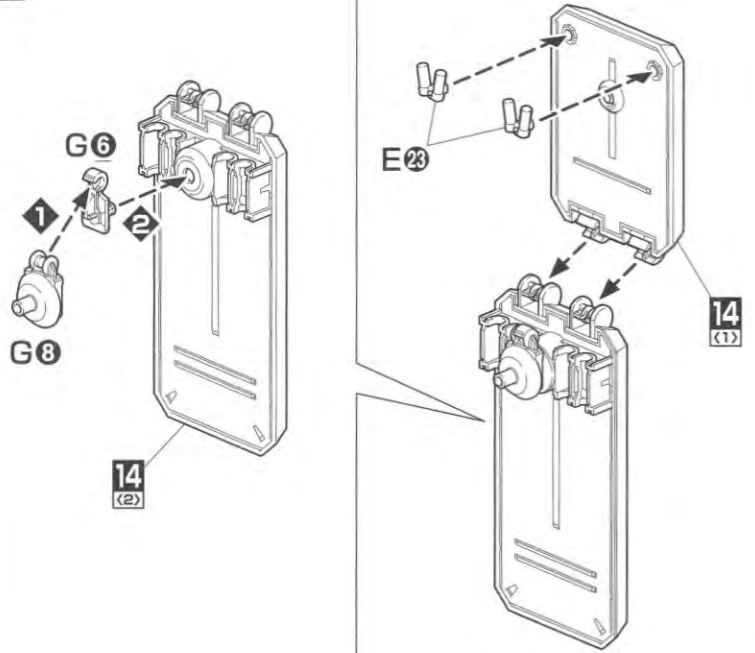
12 (ビーム・マシンガンの組立) BEAM MACHINE GUN



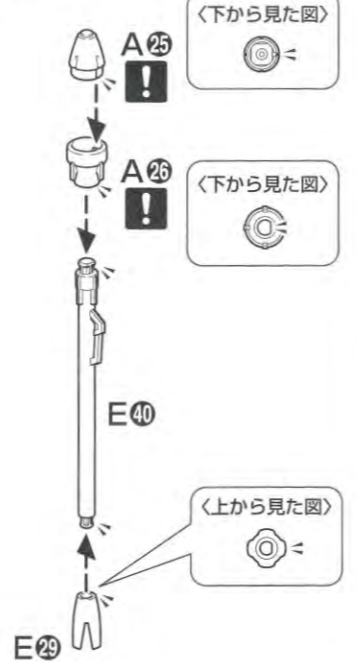
14 (シールドの組立) (1) SHIELD



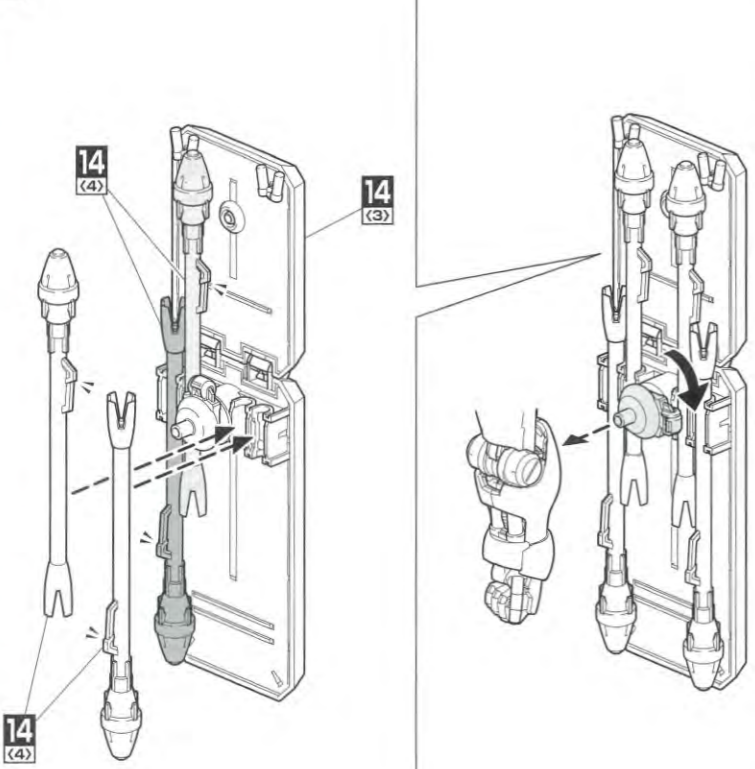
14
(3)



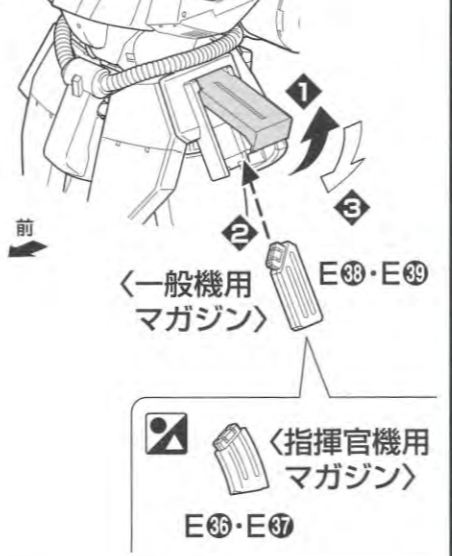
14
(4) x4



14
(5)



15
(1)



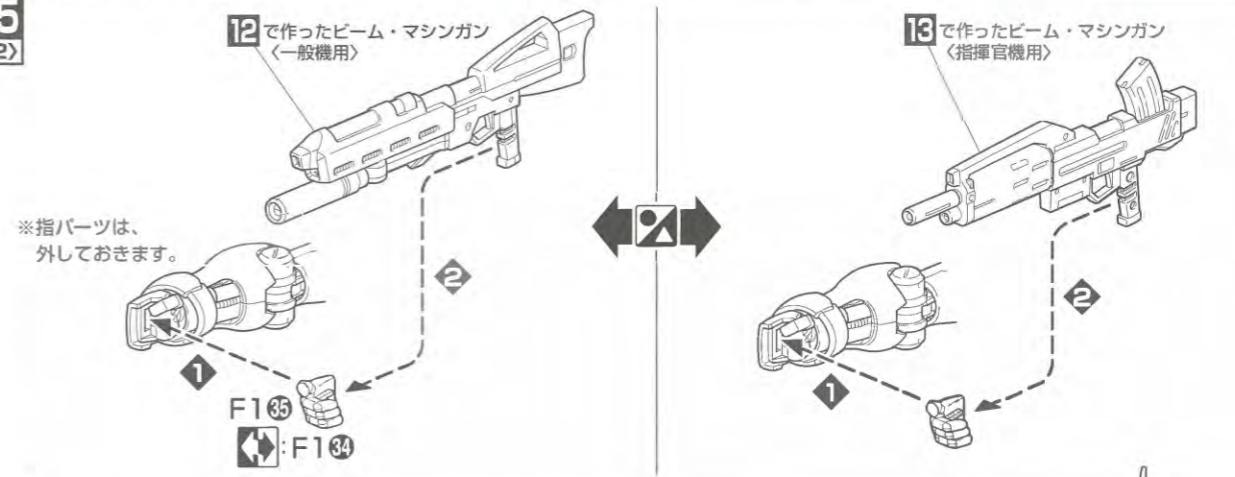
一般機用
マガジン



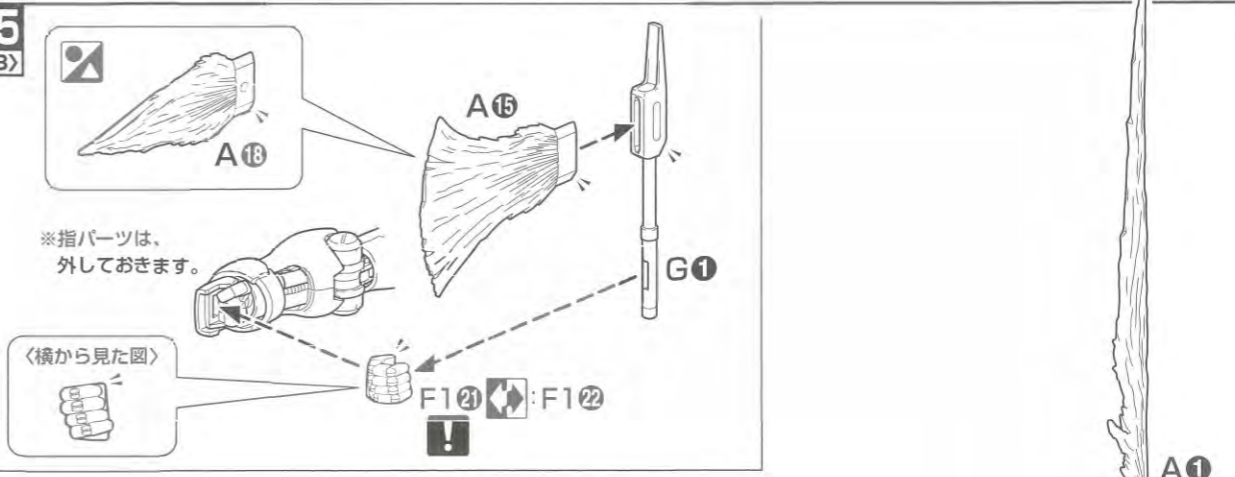
指揮官機用
マガジン



15
(2)

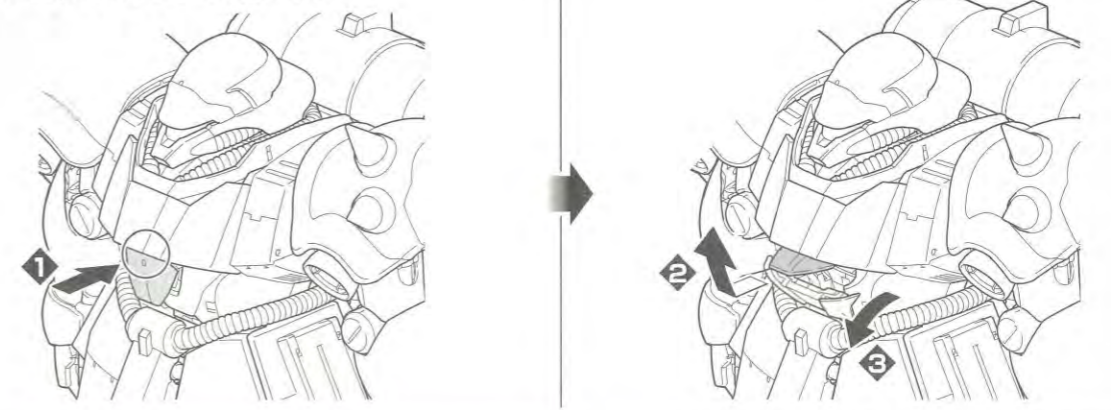


15
(3)

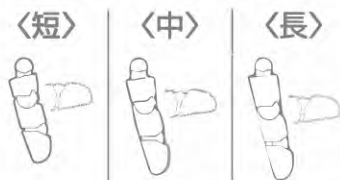


15
(4)

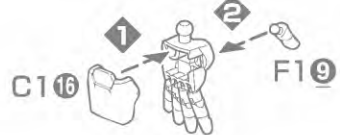
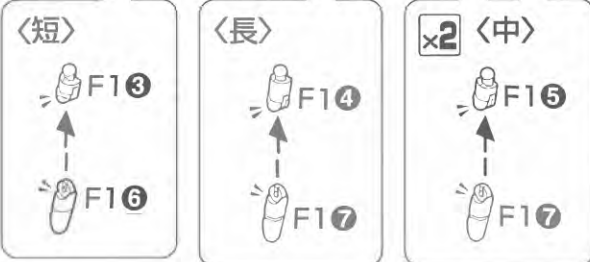
コクピットハッチの開け方



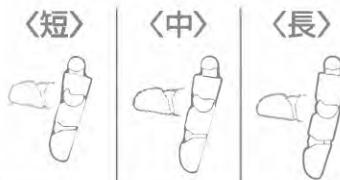
※指の長さは3種類あります。
確認しながら取り付けてください。



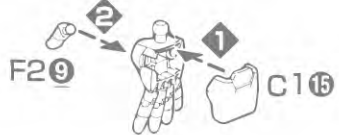
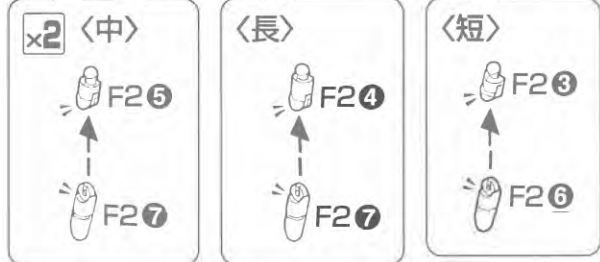
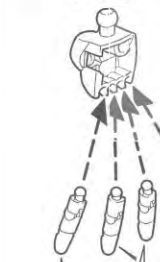
F1 23



※指の長さは3種類あります。
確認しながら取り付けてください。

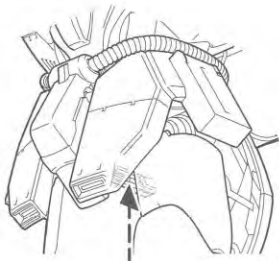


F1 24



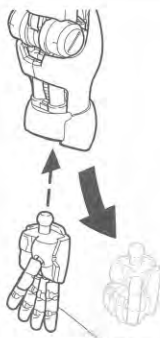
※画像の完成品は塗装してあります。

※画像はバンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用しています。



※水平に安定させて飾ってください。

※バンダイプラモデルアクションベース1 (別売り) を使用してディスプレイすることができます。



15
(6)
15
(5)

Seal

〈シール〉 下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

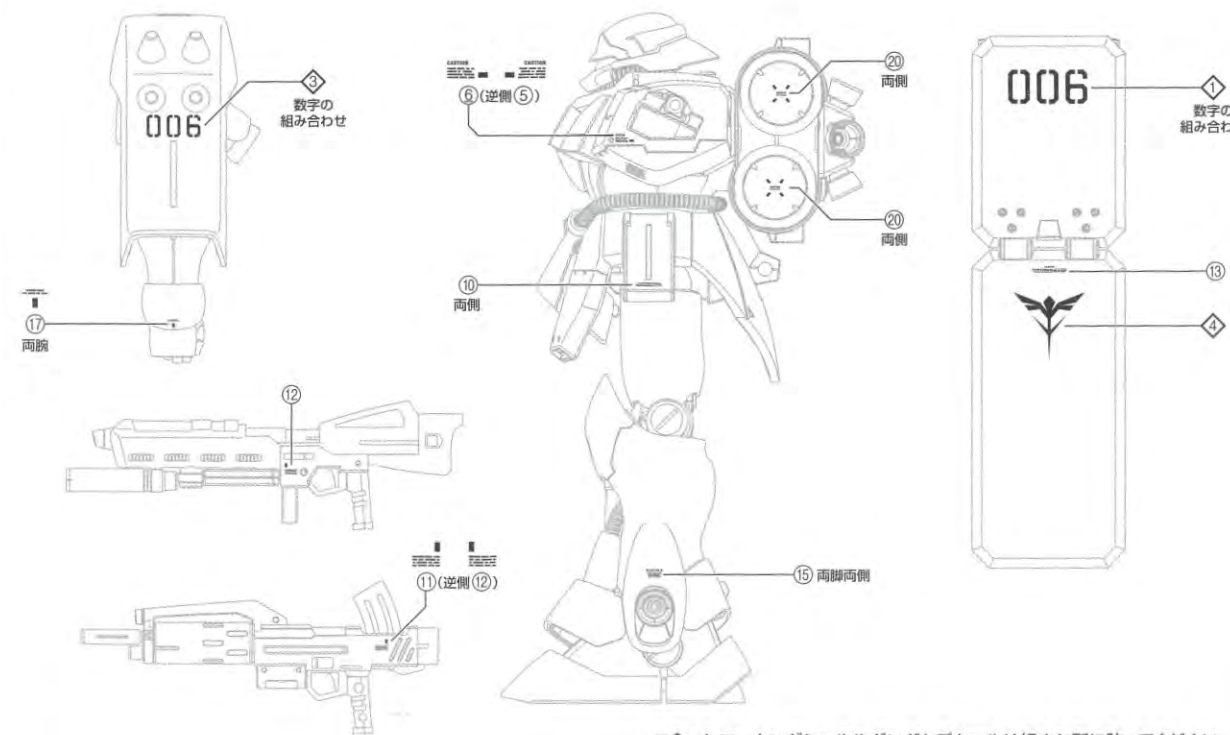
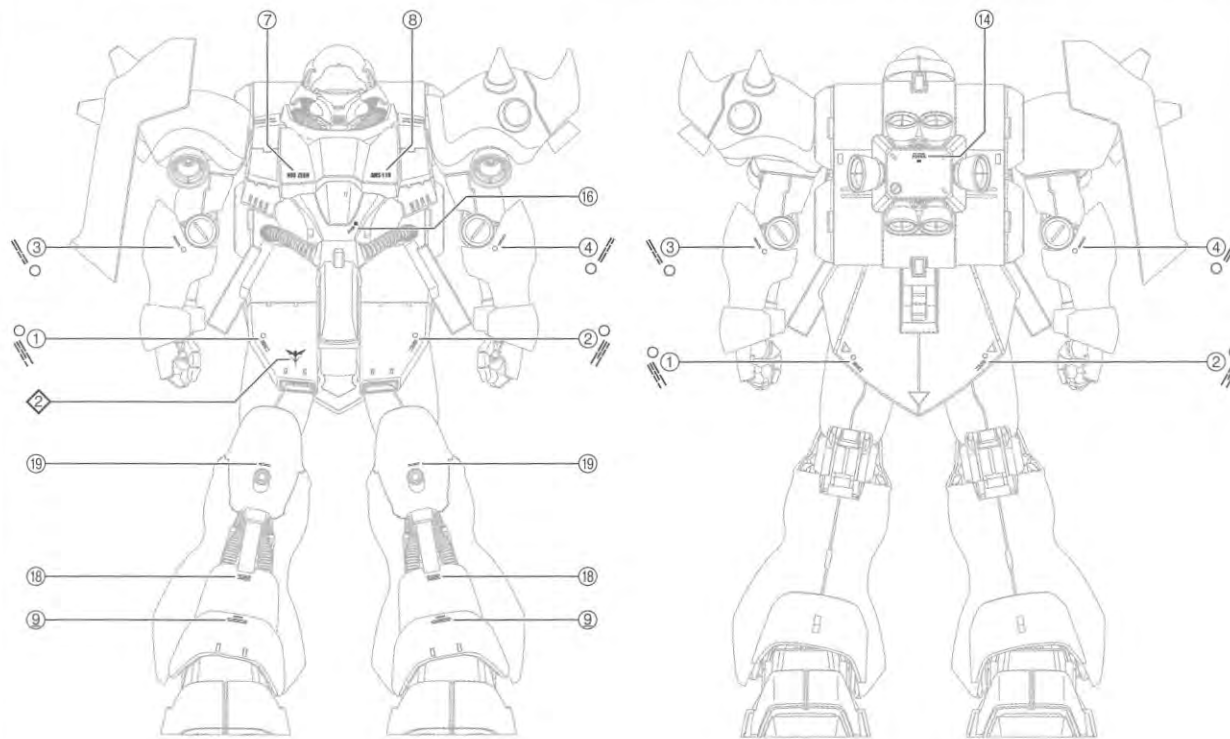
マーキングシールは○に数字
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】 ①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

【ガンダムデカールの貼りかた】 ※P6のガンダムデカールの貼り方を参考に
あせらずゆっくり貼ってください。

1. 転写するマークを大きめに切り取ります。
2. 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
3. シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすり取ります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、
貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。